

# 術後合併症の早期発見・対処法

# 脳外科疾患の術後管理



患者の異変にいち早く気づくための全身管理の基礎と現場対応の注意点



- なぜそうするのか？  
という根拠まで理解できた。
- 分かりやすい言葉で詳しく説明され  
ポイントがよく理解できた。
- 術中のことも教えてもらったので良かった。

**西村卓士氏** 医療法人仁寿会石川病院  
脳神経外科部長 脳神経外科専門医

1982年関西医科大学卒業、同年脳神経外科教室入局。関西医科大学脳神経外科助教、三重大学脳神経外科非常勤講師を経て、守口敬仁会病院脳神経外科部長、三重県立志摩病院脳神経外科医長、姫路中央病院副院長を経て、現在に至る。2007年より看護師のための「脳の解剖生理」「脳卒中の最新治療と看護実践」(日総研出版主催)などの講義で活躍。主な著書に、『看護師のための脳の解剖生理超入門』(日総研出版)がある。

**大阪** 19年 2月9日(土) 田村駒ビル  
**福岡** 19年 7月7日(日) 日総研 研修室(第7岡部ビル)

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 税込 一般 18,500円 会員 15,500円  
※会員は日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。  
※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数14人。

講師 著書 **看護師のための  
脳の解剖生理超入門** B5変型判  
2色刷 120頁 定価 2,700円+税

プログラム 商品番号(14444)

## 術後管理の基礎知識

- A) 呼吸管理
  - 脳にとっての酸素と炭酸ガス
- B) 循環管理
  - 心不全、不整脈、ショックは脳の敵
  - 降圧と頭蓋内圧の関係
- C) 栄養管理
  - 術後の栄養障害はどうやって防ぐのか
  - リハビリ栄養の考え方
- D) 頭蓋内圧と脳灌流圧に対する考え方
  - 頭蓋内圧は下げたいが、脳灌流圧は下げたくない
- E) 鎮静剤、鎮痛剤の使い方
  - 各薬剤の特徴や副作用をしっかりと把握しておく
- F) マンニトールとグリセオールを使い分け
  - 両者の違いを認識しておく
- G) 術後てんかん
  - 術後てんかんはなぜ起こり、どう支障をきたし、どう対応すべきか
- H) 脳ドレナージ
  - ドレナージ別対応法
  - オーバードレナージはなぜ怖い?
- I) 造影検査
  - 術前、術後の造影CT、造影MRIに潜むリスク

## 疾患別術後対応の考え方

- A) 脳血管障害編
  - クモ膜下出血の術後管理は特別—脳血管攣縮対策
  - 脳出血術後は血圧管理と合併症対策
- B) 脳腫瘍編
  - テント(天幕)上腫瘍術後はてんかんと脳浮腫対策
  - テント(天幕)下腫瘍術後は呼吸と嚥下に注意
- C) 頭部外傷編
  - 同じ開頭血腫除去術でも、急性硬膜外血腫と急性硬膜下血腫では大違い
  - 慢性硬膜下血腫の穿頭洗浄術後:ドレーン管理の落とし穴
- D) 血管内治療編
  - 抗血栓薬対策が重要
  - 過灌流症候群とは
- E) 脊椎疾患編
  - 椎弓形成術後の硬膜外血腫には要注意
  - 頸椎前方手術後の嚔声(反回神経麻痺)と嚥下障害
  - 脊椎術後感染症の早期診断と治療

ご紹介した商品の詳細はホームページで案内中!

日総研

検索

Eメールで専門業務のニーズに応える

「今、学べる情報」をお届け。《無料》

日総研ではアドレスをご登録いただいたお客様に、毎週Eメールマガジンをお送りしています。



登録はこちら ▶ [www.nissoken.com/mm](http://www.nissoken.com/mm)

▶ 詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

|  |  |                                 |  |
|--|--|---------------------------------|--|
| <b>FAX申込書</b><br>脳外科疾患の術後管理<br>[14444]<br>↓参加地区に✓印を<br>[9] <input type="checkbox"/> 大阪 2/9<br>[10] <input type="checkbox"/> 福岡 7/7 | ▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください<br>ふりがな _____<br>氏名 (受取確認者) _____<br>生年月日 西暦 19 ____年 ____月 ____日               | 送付住所 TEL(____) _____<br>〒 _____ | 施設宛<br>請求書<br>必要<br>・<br>不要<br>送付先<br>自宅<br>・<br>勤務先 |
|  | ▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください<br>お客様コード _____ 役職・部署 _____<br>勤務先名 _____<br>ご連絡をお送りします。メールアドレス _____ |                                 |  |

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研雑誌(定期刊行物・会員制)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報は目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)